

職員にインタビューしてみました VOL.5

長崎県五島保健衛生所 寺道 拓郎さん (日本大学卒業)

簡単に自己紹介をお願いします

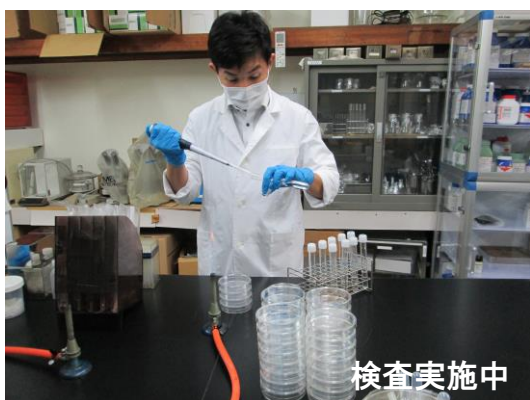
はじめまして、五島保健所の寺道と申します。

私は長崎県に入庁してから今年で4年目になります。去年までは食肉衛生検査所に所属しており、今年から保健所で勤務することになりました。今回皆様には、この4年間で私が学んだ公務員獣医師（公衆衛生獣医師）の業務内容や長崎県の魅力等についてお伝えしたいと思います。

公務員獣医師を志望した理由・きっかけを教えてください

大学在学中、卒業後の進路で臨床か公務員のどちらに進もうかと悩んでいた中で、長崎県の獣医師奨学金を借りていた縁から、県のインターンに参加する機会がありました。そこで、食の安全に携わりながら獣医師としての力を発揮できる公務員獣医師（公衆衛生獣医師）の業務に魅力を感じたことから、公務員獣医師を志望しました。

現在の業務の内容を教えてください



現在、私は食品衛生（主にと畜検査）、狂犬病予防・動物愛護業務といくつかの業務を担当しているので、それぞれ個別に紹介していきます。

まず食品衛生業務については、主にと畜検査を担当しています。と畜検査は搬入された家畜を1頭1頭検査し、安全・安心な食肉を食卓に提供するための業務となっています（これ以外にも飲食店や食

品製造施設への衛生指導、食品検査なども行っています）。

狂犬病予防・動物愛護業務については動物の適正な飼養管理について啓発を行い、人と動物両方の健康を守っています。特に動物愛護は、近年の社会的関心の高まりに伴って重要性が増してきています。これらの業務については確かに大変ではありますが、その分個々の業務で得られるやりがいも大きいです。

業務のやりがいや印象に残っているエピソードを教えてください



先の項目で触れましたが、現在私はいくつかの業務を担当していることから、その業務ごとによってそれぞれのやりがいを感じています。

例えば、食肉検査業務では、スーパーや直売所等に買い物に行った時に、自分が検査をしたかもしれない肉製品が販売されているのを見つけると、自身が食の安全に携わっている実感が湧き、やりがいを感じる場合があります。また、動物愛護業務では、保健所で保護した犬や猫が、無事に飼い主さんの元に返還できた時や、譲渡が決まった時にはとても大きなやりがいを感じます（写真の子も保健所で保護した子なのですが、先日無事新しい飼い主さんに譲渡されました）。

私生活や休日の過ごし方を教えてください

ここ最近では、管轄地域の地理の把握を兼ねて、ドライブしながら島内を巡っています（保健所での業務は動物や食品関係での現地調査等が多いため、周辺の地理を把握できているとかなり便利です）。その途中で、美味しいお店巡りや観光スポットに立ち寄るなどして、きれいな海と新鮮な海の幸（+美味しいお肉）の両方を満喫しています。

これから獣医師を目指す方や、公務員獣医師への就職を考えている方に向けてメッセージをお願いします

獣医師の活躍の場は幅広く、動物病院等で動物の命を助ける以外の役割も担っています。公務員獣医師の業務は公衆衛生面だけでも、食品の安全や動物福祉の確保、感染症の研究等、幅広い分野で活躍することができます。

また、公務員獣医師のイメージとしてはどちらかというと役所でのデスクワークばかりメインと思われる方もいらっしゃると思いますが、実際は現場での業務も多く、検査や研究、動物の管理等で大学時代に身に付けた獣医学の知識を十分に活用することができます。また長崎県は美しい島々や歴史的な背景から各地域それぞれに特色があり、地域ごとに独自のグルメや観光スポットが多くあります。公務員は休日がしっかりしているため、オフの時には各地の観光スポットやグルメを満喫してみるのもいいと思います。

最後に、長崎県では公務員獣医師のインターンシップ研修等も定期的実施しています。長崎県での就職や、公務員獣医師に少しでも興味がある方は、是非一度公務員獣医師の世界を体験してみたいかと思いますが、皆さんのご連絡を心よりお待ちしております。